

【1 分解説】生成 AI バブルとは？

経済調査部 シニアエグゼクティブエコノミスト 新家 義貴

生成 AI バブルとは、生成 AI への期待が急速に高まる一方で、投下したコストと実際の収益の間にギャップが生じつつある状況を指します。現在の AI ブームは、文章作成やプログラム開発など、企業の実務にすでに組み込まれている点で、売上もほとんどなかった企業に投資マネーが集中した 2000 年前後の IT バブル期とは異なります。生成 AI は今後も活用が広がり、長期的には生産性向上や産業構造の変化につながる可能性が高いでしょう。

しかし、データセンターなどに投じられている巨額の投資が、本当に回収できるかは別問題です。需要がどの程度の価格でどれだけ続くのか、激しい競争の中で利益率を維持できるのかも見通せません。こうした不確実性が、現在の評価が行き過ぎているのではないかという懸念に繋がっています。期待どおりに収益が伸びれば問題ありませんが、もし期待が裏切られれば急激に見直しが進み、金融市場への波及も避けられません。生成 AI ブームは米国の株高や設備投資を支え、経済の底堅さに寄与してきました。これが失速すれば、米国経済のみならず日本経済にも下押し圧力となる可能性があります。今後は、現実が期待に追いつくのか、期待が縮むのかが最大の焦点であり、生成 AI バブルの行方は 2026 年の景気を占う上で大きな論点となります。